

勝央町立勝央北小学校

(児童数 222名 教職員数 28名)

あいさつは 心と心の あいことば

アピールポイント

学校・家庭・地域が連携してあいさつを習慣づける取組をしている。



実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

- 気持ちのよいあいさつをする児童もいるが、進んであいさつしたり、大きな声であいさつしたりすることが苦手な児童も多い。

■活動内容

- 毎月 10 日をあいさつの日とし、学校支援ボランティアと児童会、教職員が校門であいさつ運動を行っている。
- 毎月 10 日・25 日の交通指導日に合わせて、保護者と教職員が集合場所等であいさつ運動を行っている。交通安全協会代議員の協力もいただいている。
- 始業式には、PTA 母親委員が校門であいさつ運動を行っており、そのときの児童の状態を委員会だよりにして会員に知らせている。
- PTA 運営委員会が「親子あいさつ標語」を募集した。集まった作品を学校運営協議会で審査し、優秀作品（見出しのもの）を看板にし、体育館壁面・国道沿いに掲示している。（平成 24 年度）

■取組の参加メンバー

- 教職員、児童会、保護者、学校支援ボランティア、学校運営協議会、地域住民有志。

■成果・効果

- 元気よくあいさつができる児童が徐々に増えている。
- 大人に立ち止まっておじぎをしておいさつをするなど礼儀正しい行動をとることのできる児童が出始めている。児童朝礼でお手本として紹介し、いっそうの広がりを図っている。
- 数年にわたってあいさつ運動にかかわってくださっている学校支援ボランティアから、あいさつの様子や落ち着きなど児童の成長ぶりを伝えていただき、そのことをまた児童や保護者に還元している。